

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	14	課題区分	C	令和3年(2021年)5月31日
横断的な課題	令和元年東日本台風災害からの復旧・復興					長野地域振興局
地域重点政策						
実施機関	千曲建設事務所			担当課	所属	千曲建設事務所
事業名	復興のための土木施設を活用した観光情報発信事業				電話	026-273-5942
					E-mail	chikuken-seibi@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	長野地域を流れる一級河川千曲川には、小布施橋をはじめ、県内における長い橋トップ5の橋が架かっている。このような特徴のある橋梁(土木施設)について、架設の経過や年代が異なる多様な構造等を紹介するカードを作成し、管内11箇所の店舗等で配布していただくことにより、若い人達が土木への関心を持つきっかけを作るとともに、県民に公共事業に対する理解を深めてもらう。また、令和元年10月の台風19号により、長野地域では千曲川の氾濫により甚大な被害が発生した。このため、古来より千曲川流域の人々の暮らしを支え、人や物資の往来を支えてきた地域の象徴である橋梁を、長野地域の観光資源として情報発信することにより誘客を図り、災害の復興支援に繋げる。				
	現状と課題	県建設部では、「県民との共感と対話」の県政推進の一環として、公共事業等建設行政に対する理解を得るため、地域を支える建設産業の魅力と重要性を発信する広報活動に積極的に取り組んでいる。一方で、建設産業は若手入職者の減少や高齢化の進行等により、将来の担い手の確保、育成が喫緊の課題となっている。				
	内容 (変更後の内容)	・カードホルダー、配布場所のお知らせボード作成・配布(千曲建設事務所管内の橋カード用)				
	事業期間	令和2年5月21日		～	令和3年3月21日	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容		計画(実績)額	備考	
	復興のための土木施設を活用した観光情報発信事業	カードホルダー、配布場所のお知らせボードの作成・配布(千曲建設事務所管内の橋カード用)		691,920		
	合計		691,920			
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況
	橋カード配布枚数11,000枚			5,500枚	9,200枚	● 達成
						○ 一部達成
						○ 未達成
事業実績・成果	コロナ禍にあって人の移動が制限される中ではあったが、R2.7.27～R3.3.21まで実施した結果、用意したカードの約84%を配布することができた。利用者は、地元を中心に県内の方が8割以上を占めた。また約8割の方が配布店舗等での買い物、施設利用をしていただき、地域の観光PR効果はあった。					
今後の方向性	R3以降、須坂、長野各建設事務所管内でも引き続き実施する予定。					